事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画) 21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成 20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 日 作成															
	事務事業名 支出(歳出)事務						マニフェスト 全庁横断 集中改革 関連 課題関連 プラン関連								
総合		政	策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属 所属	部は会計課		課長名 担当者名		-		
計画	施策			24	行政改革の推進					所属班 会計班 (内線) 1103					
体系		基本	事業	事業 89 会計の適正な処理		法令	法令根拠								
							年度で終了	で終了 21年度から開始 成果優先度評価結果 6 コネール 121年度から開始 21年度がら開始 21年度がより 21年度をより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度をより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度がより 21年度をより 21年度がより 21年度をより 21年度							
事	事業期間 □ 単年度のみ ▼ 単年度繰返(開始年度 18 年度) □ 期間限定複数年度 (~ 年度) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)														
【事	【事業の内容】 合志市の支出(歳出)に関する事務である。														
【業務の流れ】 ①支出負担行為決議書及び支出命令書の審査②債権者の登録															
<u>(5)</u>	を出	デー	タ作成			い準備④口座:	振込FD作成								
【主な予算費目】旅費・消耗品費・備品 1 現状把握の部(DO、PLAN)															
1 現状化権の部(DO、PLAN) (1) 事務事業の目的と指標 ① 手段(主な活動) 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)															
20	丰店	E実績	責(20年)	度に行	った主	な活動) (DO である)			を日本 (2147)	C.C.H. 回し CV	シュー'か1日男	,, (1 Li	. 111/	
合志市の支出(歳出)に関する事務である。															
									⑤活動	助指標(事務事	業の活動量を表	長す指標)=(■ν.会会書の	Dの指標	票 · 米 /r	(単位)
(0)	41.	5. /∌#	!"""/ 	は名)を		ろのか) * 人ぷ		······	$\Rightarrow \frac{1}{\sqrt{2}}$	支出負担行為 口座振込FD処	次議者及び代 が 1理件数 エキンチョンド	あつ叩下音の	金里似	. 致	枚件
		聚(誰 後出):		付家に	L (\ \	507774) * 八°	で日然寅嫄寺	Ė	り対す ⇒ ア	負指標(対象の 支出(歳出)総	大ささを表す指 額	(標) =(2)の指	[標		(単位) 千円
						象をどう変える			. 1 ⑦成り	県指標(意図の 適正に処理さ	達成度を表す	旨標) =③の打	旨標		(単位) 件
						いつ正確に支払			ブ イ					- Us (-re	
						的に結び付け れている 。	「るのか)		・ア	立成果指標(」 誤って支払った	-件数	度を表す指標	票) = (4)	の指標	(単位) 件 件
(2)	総	事業	費・指標	等の推	善移	10 Fr Hr	10 Fr	00 to the		監査指摘件数		00 to the		A /131-	
					単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)		全体計画	年度
		>	国庫支		千円								期		
	事	次 内	地方 その	仳.	千円 千円								総ト		
投	業費	訳	繰入 一般則	才源	千円 千円	1,186	192	184	157	250	250	250	- 一 タ 数		
入量		(A)事業 うち指定			千円	1,186	192	184	157	250	250	250	が年度		0
	人		ち時間外、特別 と職員従 ³		手円 人	5	6	6	193	6	6	6	ニスト		
	件費		べ業務F B)人件費		時間 千円	5,004 19,866	11,113 44,230	6,430 25,591	16,479 65,586	7,000 27,860	7,000 27,860	7,000 27,860	記載		0
_	トータルコスト(A))+(B)	千円 枚	21,052 30434	44,422 19200	25,775 19200	65,743 36434	28,110 40000	28,110 40000	28,110 40000	$\overline{}$		0
L		活動指標			<u>枚</u> 件 千円	22134 28668644	22049 29742419	22049 30000000	28243 26618028	22000 30000000	22000 30000000	22000 30000000	目総標合		
		対象指標			件	2580	0	0		0	0	0	数計値画		
			指標	ア イ ア	件	14	0	0		0	0	0	22		
(2)			果指標	イ	件	100	11	0	l	0	0	0	年度		
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 (1) この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 地方自治法に基づき実施している。															
						鱼类 外扭 栅 运	上人母\\\	赤ルニアいる	.カ、 同 4 ム吐 4	日本ストハナニケ	益しレベア!ゞ	ふがむ - たっ)-4√ Ω		
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。															
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。															
特	こな	L₀													

	事務事業名	支出(歳出)事	務	所属部		所属課	会計課			
2			の事後評価、ただし複数年							
妥当性評	①政策体系との虫 この事務事業の目的は市でか?意図することが結果に	の政策体系に結びつく		∄由】 つ き、速やか			「反映 は結果の「法令、規則等に基づき適正			
	② 公共関与の妥 ·	なければならないのか?	 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3評価結果の総括(SEE)に反映 ✓ 妥当である ⇒【理由】 → 法で定められており妥当である。 							
	③ 対象・意図の子 対象を限定・追加すべきか べきか?		 □ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 → 3評価結果の総括(SEE)に反映 図状のままで適切である。 							
有效性評	④ 成果の向上余 成果を向上させる余地はあ 準とあるべき水準との差異 成果向上が期待できない。	あるか?成果の現状水 はないか?何が原因で								
	事務事業を廃止・休止した の内容は?		 影響無 ⇒【理由】 3 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ▼ 影響有 ⇒【その内容】 3 地方自治法に反し、また市政の運営上混乱をまねくと思われるので廃止・休止できない。 							
	⑥ 類似事業との第 可能性 目的を達成するには、この 法はないか?類似事業との 類似事業との連携を図るこ が期待できるか?	事務事業以外他に方の統廃合ができるか?	□ 他に手段がある□ 統廃合・連携ができる□ 統廃合・連携ができな	⇒[∄	手段, 事務事業) 里由】 → 3評価結: 里由】 →	果の総括	(SEE)に反映			
效率	⑦ 事業費の削減 成果を下げずに事業費を 様や工法の適正化、住民の	削減できないか?(仕		事事	⇒3評価結果の総 以上の削減余地はない)に反映			
性評価	⑧ 人件費(延べ美減余地 やり方を工夫して延べ業務か?成果を下げずにより正 託でできないか?(アウトン	病時間を削減できない E職員以外の職員や委	▼ 削減余地がない ⇒【理			F度から一)に反映 部を除き財政班審査がなくなり会計			
平性評価	1	者に偏っていて不公平 が公平・公正になって	見直し余地がある ⇒【理公平・公正である ⇒【理内部事務であり法により審査:	∄曲】 🦠	⇒3評価結果の終 うる。	活(SEE)に反映			
	評価結果の総括) 1次評価者として			(9))全体総括(振り返り、	巨少占)				
	① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	性 ママママママママママママママママママママママママママママママママママママ	切 □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり		①目的妥当性について ②有効性については、 ②効率性については、 ④公平性については、	は、…。 …。 …。				
	4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ 規状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
(3	(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策									
5		評価結果(施策	の統括課長の総括)							
)目的の直結度)貢献度	6 10	(直結度高い (貢献度高い		直結度中 4~6 貢献度中 4~9		痩低い 7~9) 度低い 10~12)			